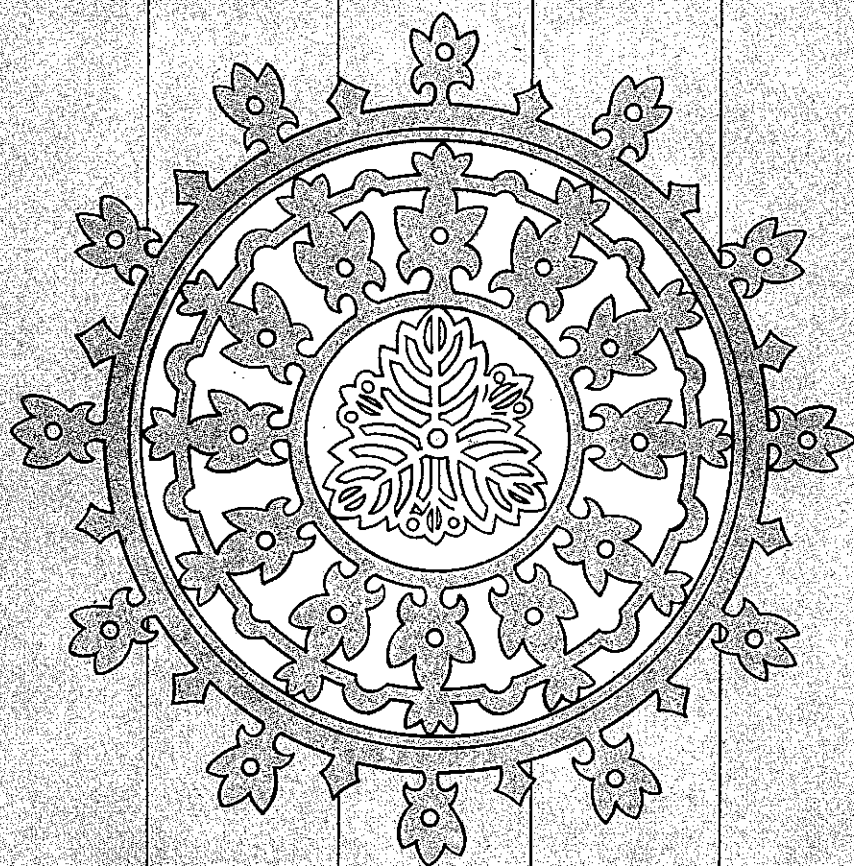


一高生活の実状



第一高等學校寄宿寮

序

校長 天野 貞祐

いまや敗戦のみじめさは言語に絶し、インフレの浪はますます高く、生活に對するその脅威は日に深刻の度を加え、ともすれば暗愁としかのみならず絶望感とが夕闇の如くわれらの心に迫り來るのをとどめえないのである。

しかしこの苦難の意味するものは絶望ではなくして希望でなければならぬ。それは軍國日本を葬つて平和日本を建設する創造の苦難だからである。歴史は本來生きたものだと言える。自然の過去は變じようがない、しかし歴史の過去は變せられることができる。あの赫々たる戦果も現在としては凄惨なる敗戦の一契機たるにすぎない。同様にこの敗戦も文化に輝やく平和日本創造の契機となることはもとより可能である。これを國家轉落の契機たらしむるも、國家興隆の原動力たらしむるも一にかかつてわれらの覺悟にある。

この課題に當面にして、われら先ず己れ自らを知らうと思う、自己の現實を直視し、なほこれを社會の認識に對して開示しようと思う。生徒諸君のこの企圖に私は心からの賛意を表してこの序言をものした次第である。

一高生活の實狀目次

統計資料

1 内職關係……………	2
A 在寮生内職従事者數比率(二二年九月)……………	2
B 通學生内職従事者數比率(同右)……………	2
C 内職種目別統計(右同)……………	2
D 學生々活繼續ノ主觀的可能性(右同)……………	3
E 今後希望スル内職種目別(同右)……………	3
2 輿論調査關係(二二年五月調査)……………	4
A 新憲法ニ對スル賛否……………	4
B 高等學校廢止ニ對スル賛否……………	4
C 出欠席點呼制度ニ對スル賛否……………	4
D 自由聽講制ニ對スル賛否……………	4
E 一高ニ於ケル男女共學ノ賛否……………	5
F ストームニ對スル賛否……………	5
G 現行試驗制度ノ存續ヲ前提トシテノ試驗 回數ニ關スル希望……………	5
H 希望スルセミナー……………	6
I 講讀雜誌名……………	6
J 愛好映畫名……………	6

3 學校生活一般ニ關スル諸統計

A 父兄在住地別生徒數……………	6
B 在寮率(二二年九月—十月平均)……………	6
C 生徒在籍者數(學年別)……………	7
D 在寮生ノ一ヶ月平均收入金額(二二年九月)……………	7
E 本校受験生合格率(一九年以降)……………	8
F 本校卒業生ノ進學狀況(二一年度)……………	8
G 生徒ノ家庭職業別……………	9
H 毎月ノ寮會計ヘノ納入金……………	9
I 一ヶ月學費(含生活費)平均(二二年九月)……………	10
J 寄宿寮食堂提供定食カロリー表……………	10

記事 一高の外観

本校構内の諸施設……………	11
寄宿寮の運営……………	12
學生運動の消息……………	18
向陵年中行事……………	19

I 内職關係ノ統計

A. 内職従事者數比率(寮生)

昭和22年9月調査

	文科	%	理科	%	特高	%	合計	%
従事者	149	38.7	160	36.3	6	13.6	315	36.2
非従事者	236	61.3	281	63.6	38	86.4	555	63.8
合計	385		441		44		870	

B. 内職従事者數比率(通學生)

同上

	文科	%	理科	%	特高	%	合計	%
従事者	18	26.9	37	33.9	5	38.4	60	31.1
非従事者	49	73.1	70	64.2	10	58.9	129	66.9
不明	0	0	2	1.8	2	11.8	4	2.0
合計	67		109		17		193	

C. 内職種目別統計

同上

但有括弧ハ共済部斡旋、無括弧ハ其他

種 目	文 科	%	理 科	%	特 高	%	合 計	%	
家 庭 教 師	60(6)	43.1	79(13)	54.0	4(0)	66.6	137(19)	49.1	
事 務	11(44)	35.8	6(43)	28.7	2(0)	33.4	19(87)	32.1	
筆 耕	1(1)	1.3	3(0)	1.8	0(0)	0	4(1)	1.51	
翻 譯	3(0)	1.97	1(0)	0.59	0(0)	0	4(0)	1.12	
註 文 取	3(3)	3.9	1(3)	2.35	0(0)	0	4(6)	3.03	
肉 體 勞 働	9(4)	8.4	7(2)	5.3	0(0)	0	16(6)	6.7	
講 師	1(0)	0.64	0(0)	0	0(0)	0	1(0)	0.30	
相 陰 會 (添 削)	0(1)	0.64	0(2)	1.2	0(0)	0	0(3)	0.91	
其 他	7(0)	4.5	10(0)	5.8	0(0)	0	17(0)	5.15	
合 計	共濟部斡旋	(59)	(38.5)	(63)	(37.0)	(0)	(0)	(122)	(37.0)
	其 他	95	61.5	107	63.0	6	100.0	208	63.0

D. 學生生活繼續ノ可能性

22年5月及9月調査

程度	年月	22年9月				
	22年5月	文	科	理	科	特、高、平、均
充 分 餘 裕	1.6	0	0.9	0	0.4	
可 能	13.0	10.1	13.8	10.3	12.0	
ドウニカ可能	26.0	22.1	28.9	8.8	24.8	
稍 困 難	32.9	17.6	18.9	20.6	18.5	
相 當 困 難	26.0	8.1	7.8	10.3	8.1	
不 可 能	0.5	0.2	0.3	1.5	0.4	
不 明		41.9	29.4	48.5	35.8	

註 數字ハ百分率ヲ表ス。不明トハ調査用紙ニ無記入ナリシモノヲイフ

E. 内 職 希 望 種 類

同 上

種 類	年月	22年9月				
	22年5月	文	科	理	科	特、高、平、均
家 庭 教 師	49.0	34.0	40.5	26.7	36.9	
事 務	16.4	17.5	22.3	36.7	19.95	
翻 譯	13.7	15.4	9.97	0	12.44	
筆 耕	5.3	6.72	5.45	13.7	6.25	
註 文 取	0	2.24	1.56	0	1.86	
肉 體 勞 働	2.3	2.84	4.2	16.7	3.8	
講 師	0	5.07	4.05	0	4.46	
添 削	12.9	6.57	9.97	0	8.05	
其 他	0.5	0	0	0	0	
不 明		2.24	2.02	6.7	2.24	
希 望 人 員	620	670	644	30	1342	

註 數字ハ各科項目別ノ百分率ヲ表ス

2 輿論調査ノ統計 (数字ハ各部屋・學年別 ノ各項目別ノ%ヲ表ス)

A. 新憲法ニ對スル賛否

昭和22年5月15日委員調査

	文化部 3 年	運動部 3 年	一 般 3 年	文化部 2 年	運動部 2 年	一 般 2 年	文化部 1 年	運動部 1 年	一 般 1 年	全 體
賛	20.8	21.2	13.1	15.7	25.9	23.2	29.0	20.5	26.5	21.4
否	22.9	9.6	27.3	35.7	22.3	16.0	21.0	11.5	21.3	20.8
中 立	14.6	27.0	31.6	28.6	27.1	33.0	35.0	32.8	28.8	30.2
無 關 心	41.7	42.4	28.0	20.0	24.7	27.8	15.0	35.2	23.4	27.6

B. 高校(舊制)廢止ニ對スル賛否

同 上

	文化部 3 年	運動部 3 年	一 般 3 年	文化部 2 年	運動部 2 年	一 般 2 年	文化部 1 年	運動部 1 年	一 般 1 年	全 體
賛	25.6	12.2	13.8	33.3	6.8	17.5	13.3	7.6	10.6	14.1
否	39.5	61.2	41.3	36.7	62.5	56.9	71.2	59.0	69.0	56.4
中 立	13.9	16.4	21.7	18.3	12.5	12.8	11.1	13.7	16.8	15.5
無 關 心	21.0	10.2	23.2	11.7	18.2	12.8	4.4	29.7	3.6	14.0

C. 出缺制ニ對スル賛否

同 上

科 學 年	文 科				理 科				特 高	總平均
	1 年	2 年	3 年	平均	1 年	2 年	3 年	平均		
賛	15.8	8.9	10.9	12.2	12.5	8.3	7.9	9.8	13.2	11.1
否	31.5	54.2	46.7	42.9	35.7	41.6	45.7	40.3	32.1	40.9
無 意 味	38.8	25.2	37.0	33.7	36.2	42.4	35.4	37.9	39.6	36.2
不 明	13.9	11.8	5.4	11.2	15.8	7.7	11.0	12.0	15.2	11.8

D. 自由聽講制ニ對スル賛否

同 上

科 學 年	文 科				理 科				特 高	總平均
	1 年	2 年	3 年	平均	1 年	2 年	3 年	平均		
賛	59.9	83.2	80.0	72.3	65.6	78.6	74.6	72.1	80.4	72.7
否	15.4	6.1	6.7	10.3	9.1	7.9	7.9	8.4	3.9	9.0
無 意 味	2.4	0.8	5.6	2.6	2.7	2.1	1.6	2.2	2.0	2.4
不 明	22.9	9.9	7.7	14.9	22.6	11.4	15.8	17.2	13.7	16.0

E. 一高二於ケル男女共學ニ對スル賛否

昭和22年5月15日委員調査

		文化部運動部一 般			文化部運動部一 般			文化部運動部一 般			全 體
		3 年	3 年	3 年	2 年	2 年	2 年	1 年	1 年	1 年	
反	對	51.2	32.4	45.1	27.5	59.1	53.6	54.2	57.3	60.2	50.9
共	學 共 寮	20.0	18.2	18.0	25.0	15.9	13.1	16.7	8.3	8.5	15.5
共	學 女 子 無 寮	28.8	49.4	36.9	47.5	25.0	33.3	29.1	34.4	31.3	33.6

F. ス ト ー ム ニ 對 ス ル 賛 否

同 上

		文化部運動部一 般			文化部運動部一 般			文化部運動部一 般			全 體
		3 年	3 年	3 年	2 年	2 年	2 年	1 年	1 年	1 年	
賛		9.3	39.7	12.7	6.7	21.7	9.1	6.2	12.9	13.1	13.7
否		55.5	31.0	47.2	58.7	30.4	52.8	52.6	33.1	42.1	43.9
止	ム ラ 得 マ	9.3	10.3	3.0	8.0	8.7	11.8	9.3	12.1	6.5	8.7
無	關 心	7.4	5.2	18.9	8.0	9.8	15.4	13.4	23.4	19.6	14.8
新	學 期 ノ ミ 可	11.1	3.4	10.7	6.7	5.4	4.5	6.2	8.1	6.5	7.0
説	教 ス ト ー ム ノ ミ	5.5	5.2	7.3	10.7	10.9	4.5	4.1	5.6	4.7	6.7
寮	歌 ス ト ー ム ノ ミ	2.0	5.2	1.2	1.3	13.1	1.9	8.2	4.8	7.5	5.2

G. 現行制度ニ於ケル希望試験回数

同 上

回 數	學 年	文 科				理 科				特 高	總平均
		1 年	2 年	3 年	文科平均	1 年	2 年	3 年	理科平均		
0	回	3.6	0.8	4.5	2.83	2.7	3.6	3.2	3.1	0	2.8
1	回	4.7	9.2	15.7	8.72	1.1	3.6	2.4	2.22	0	5.0
2	回	37.1	59.6	50.5	47.8	23.3	24.6	37.3	29.71	39.2	38.1
3	回	46.7	29.0	26.9	36.2	62.0	63.0	48.5	58.53	50.9	48.3
4	回	0.6	0	0	0.26	0	0	0	0	0	0.1
5	回 以 上	1.2	0	0	0.51	3.2	2.2	2.4	2.66	0	1.5
不	明	5.9	1.51	2.2	3.6	2.7	2.9	6.3	3.77	9.8	4.9

J. 愛好映畫名

同 右

舞踏會の手帳	33
我が道を行く	23
望 郷	22
にんじん	16
格子なき牢獄	15
バリ - 祭	14
今一度の	13
キューリー夫人	12
うたかたの戀	8
永遠の處女	5
カサブランカ	5
少年の町	4
我が青春に悔なし	4
モロツコ	4
石の花	4
永遠に愛せよ	4
白鳥の死	3
征 服	3
美しき争ひ	3
アメリカ交響樂	3

I. 講讀雜誌名

同 右

世 界	96
展 望	26
新 潮	25
リーダーズ・ダイ ジェスト	23
人 間	19
前 衛	6
思 索	5
科 學 朝 日	5
理 論	5
改 造	3
自 然	3
世界評論	3
日本評論	3

H. 希望ゼミナール

昭和22年5月15日委員調査

フ ァ ウ ス ト	9
資 本 論	8
ツアラッストラ	6
純粹理性批判	5
新民主々義	5
實踐理性批判	4
ハムレット	4
種 の 起 源	3
パ ン セ	3
聖 書	2
判斷力批判	2
國 家 と 革 命	2

3 其 他 ノ 統 計

B. 在 寮 率

自22年9月15日
至同年10月15日 在寮率(人数ハ平均)

在籍者數	在寮者數	在 寮 率
1533	1068	69.7

A. 家 族 所 在 地

	東 京	地 方	外 國
人 員	780	651	82
%	51.6	43.0	5.4

C. 本校在籍者數

自昭和17年至昭和22年

	文科三年	文科二年	文科一年	理科三年	理科二年	理科一年	本科合計	特 高
17年4月1日現在	199	199	208	218	201	286	1311	140
18年4月1日現在	195	220	205	179	301	293	1393	115
19年1月4日現在	222	214	189	272	301	351	1449	138
20年4月1日現在	—	166	131	—	372	409	1078	77
21年4月1日現在	156	230	272	259	284	179	1380	87
22年4月1日現在	214	240	226	283	246	232	1441	89

D. 寮生月收入金額別統計

22年9月調査

寮生ノ22年9月現在月收入金額別調査統計表

金 額	文 科	%	理 科	%	特 高	%	合 計	%
500 以下	3	0.8	4	0.9	1	0.8	7	0.8
500~600	12	3.2	16	3.5	6	4.9	30	3.4
600~700	18	4.7	21	4.6	7	5.7	39	4.4
700~800	30	7.9	35	7.7	12	9.8	66	7.4
800~900	37	9.7	40	8.9	15	12.2	79	8.9
900~1000	27	7.1	49	10.7	14	11.4	81	9.1
1000~1100	47	12.3	70	15.3	23	18.7	126	14.2
1100~1200	22	5.8	22	4.8	2	1.6	46	5.2
1200~1300	37	9.7	35	7.7	10	8.1	73	8.2
1300~1400	21	5.5	26	5.2	7	5.7	48	5.4
1400~1500	27	7.1	18	3.9	6	4.9	52	5.8
1500~2000	48	12.6	60	13.1	10	8.1	116	13.1
2000~2500	21	5.5	19	4.2	4	3.3	45	5.1
2500 以上	22	5.8	15	3.3	3	2.4	42	4.7
不 明	9	1.2	17	3.7	3	2.4	28	3.2
合 計	381		457		123		889	

E. 本校受験者数及入学者数

19.21.22年度(20年度ハ記録缺)

年 度		文 科	理 科 甲	理 科 乙	合 計
19	出 願 者	656	1161	320	2137
	受 験 者	492	836	208	1536
	入 学 者	76	240	80	396
	合 格 率	1:6.5	1:3.5	1:2.6	1:3.9
21	出 願 者	1593	1383	591	3567
	受 験 者	1427	1259	530	3216
	入 学 者	163	104	72	339
	合 格 率	1:8.8	1:12.1	1:7.4	1:9.5
22	出 願 者	1702	1402	543	3647
	受 験 者	1551	1297	475	3323
	入 学 者	200	120	80	400
	合 格 率	1:7.8	1:10.8	1:5.9	1:8.3

F. 昭和21年度卒業者ノ主ナル上級学校入学状況

(但シ浪人ヲ除ク)

	文 科			理 科			合 計		
	延人員	實人員	入学者	延人員	實人員	入学者	延人員	實人員	入学者
東 京 帝 大	141	138	120	272	220	128	413	358	248
京 都 帝 大	8	4	7	5	5	1	13	9	8
東 北 帝 大	1	0	0	3	0	2	4	0	2
北 海 道 帝 大	0	0	0	1	0	1	1	0	1
名 古 屋 帝 大	0	0	0	1	1	0	1	1	0
千 葉 醫 大	0	0	0	5	0	3	5	0	3
東 京 工 大	0	0	0	4	0	4	4	0	4
計	150	142	127	291	226	139	441	368	266

註 1 延人員トハ志願者總数(第一・二志望共)ニシテ實人員トハ各校ヲ第一志望トシタモノノミノ人員デアル

2 從ツテコロコハ出テ居ナイガ實際ノ受験者數ハ延人員ヨリモ小・實人員ヨリ大ト考ヘラレル

G. 家庭ノ職業狀況

22年9月調査

	寮 生	%	通 學 生	%	合 計	%
官 公 吏	120	13.3	29	15.0	149	13.6
農 業	44	4.9	2	1.0	46	4.2
會 社 員	255	28.3	62	32.1	317	28.9
實 業 家	31	3.4	5	2.5	36	3.3
商 業	86	9.5	14	7.3	100	9.9
工 業	41	4.5	3	1.5	44	4.2
自 由 業	67	7.4	16	8.4	83	7.4
無 職	213	23.4	45	23.3	258	23.4
不 明	45	5.0	17	8.8	62	5.6
合 計	902		193		1095	

II. 毎月寮ニ納入スル金額(食費及經常費)

自 20年4月 至 22年12月

年 月	月總額	内食費	年 月	月總額	内食費	年 月	月總額	内食費
			21年 1月	37.50	33.00	22年 1月	120.00	111.00
			" 2月	"	"	" 2月	"	"
			" 3月	"	"	" 3月	180.00	167.00
20年 4月	22.20	21.00	" 4月	50.00	46.00	" 4月	"	162.00
" 5月	24.60	21.70	" 5月	"	"	" 5月	170.00	152.00
" 6月	24.20	21.00	" 6月	65.00	60.00	" 6月	"	"
" 7月	22.90	"	" 7月	"	"	" 7月	290.00	262.00
" 8月	25.00	23.00	" 8月	"	"	" 8月	"	"
" 9月	"	"	" 9月	"	"	" 9月	340.00	312.00
" 10月	"	"	" 10月	"	"	" 10月	"	"
" 11月	"	"	" 11月	120.00	111.00	" 11月	400.00	370.00
" 12月	35.00	33.00	" 12月	"	"	" 12月	"	"

I. 一ヶ月當リノ學費

22年5月

22年9月

金 額	%
300 以下	2.3
300~ 350	3.0
350~ 400	6.5
400~ 450	10.0
450~ 500	9.8
500~ 550	11.9
550~ 600	7.2
600~ 650	9.5
650~ 700	7.6
700~ 750	6.8
750~ 800	3.9
800~ 900	6.3
900~1000	5.6
1000~1200	5.2
1200~1500	2.9
1500~2000	1.0
2000 以上	0.5

金 額	寮 生	通 學 生
500 以下	0.12%	0 %
500~ 600	2.22	1.5
600~ 700	5.97	1.5
700~ 800	9.35	4.66
800~ 900	11.57	3.6
900~1000	10.87	7.7
1000~1100	12.5	4.15
1100~1200	7.0	6.2
1200~1300	7.4	5.2
1300~1400	5.9	1.5
1400~1500	5.7	6.2
1500~2000	12.3	11.4
2000~2500	3.6	3.1
2500 以上	2.2	2.08
不 明	3.3	41.0

J. 寮食堂食事一日平均カロリー

自 22年6月 至 22年12月

	カロリー		カロリー		カロリー		カロリー
6 月上旬	1570	8 月上旬	1800	10 月上旬	1430	12 月上旬	1600
中 "	1560	中 "	1710	中 "	1670	中 "	1560
下 "	1600	下 "	1850	下 "	1680	下 "	1680
7 月上旬	1670	9 月上旬	1510	11 月上旬	1830	總 平 均	1650
中 "	1630	中 "	1510	中 "	1960		
下 "	1520	下 "	1520	下 "	1700		

事

記

一 高 の 外 観

本校構内の諸施設

a 圖書館

われわれ學生にとつて書籍ほど尊いものはない。しかもこのはなはだしき書籍購入難の時代にあつて、われわれ一高生にとつてもつとも嬉しいのはこの圖書館の存在である。校門を入ればすぐ右手に、左手の講堂と向ひ合つて建つ蕭洒な洋館、中には約八萬卷の和洋書籍を蔵し、われわれは日毎夜毎古來幾多の先人の手に觸れたおもしろい書籍に親しむのである。しかし資金の關係上新書の購入は思ふやうにならず、われわれはやむなき向學の至情を抑へながら古書を縫き、何の思ふこともなく讀書に耽り得る時の一刻もはやく來ることをひたすら希ふのである。

b 攝生室

むかしから一高生は身體が弱く（勿論これは前後もわきまへない過激な勉學に依るのであらうが）攝生室はなくてはならぬ施設であつた。内部には診察室、薬局の外に今は得がたいレントゲン寫眞撮影室をも備へ、殊に一高生の間に多い肺患の絶滅に努力を傾けてゐる。むかしは保健衛生委員、いまは

名稱をかへて厚生委員がこれを管理し、先輩の醫師、大學生などとともに献身的な活躍をしてゐるが、これまた資金の不足のためなかなかその仕事は困難な模様である。

c 浴室

構内の東隅にありむかしは右に洗濯場左に浴場を備へ、石炭に依るボイラーで操作をしてゐたが、いまは電氣に切りかへて營養委員が管理してゐる蓬髮垢身の一高生もそろそろ無意味な傳統の殻から脱れようとはしてゐるが、入浴時間も電力節約から極端にみぢかく理想のみは意識しながらもなかなか實現されない。またむかしの洗濯場はいま焼失したホールが改造使用してゐる。

d 同窓會館

構内の西隅にある和洋折衷の建物がそれである。洋室二間、和室六間ほどあり、寮生の大規模なコンパ（集會）同窓生の會合、文化部の討論、講演、輪講などに低廉な使用料で應じてゐる。なほ和室のうち一部分は戦災に依つて家を焼失された二三の教授の方がいま

は住んで居られる。

e 運動施設

われわれは一高にはいつた時、まづ最初に「一高は廣い！」といふことを言はれた。勿論これは形而上的な意味すなはち一高の良い傳統たる寛容の美德を標榜するものであらうが、實際に言つても一高はまづたく廣い。そしてその半ば以上は運動場にあてられてゐる。一高生にとつて寮生活が尊ばれるのはひとへにその正しい意味での一致協和の精神に依る。そしてこの尤も熱烈なる保持者は運動部の人達である。近時とみに復活した野球部は構内西北隅のグラウンドで、またその南隣のコートでは庭球部が、その他ラグビー、蹴球場、陸上運動場などで、それぞれ部が日毎練習にはげんでゐる。水泳部のプール、ハウスは焼失してしまつたが残存せるプールにはつねに満々と水をたたへ、冬季なほ演練にはげむその不撓不屈の精神は嘉すべきものがある。

f 食堂

純然たる自治體制に依る一高にとつてその經營のもつとも困難なのは食堂であらう。全寮制度のため一千にあまの寮生の食事はいつさいこの食堂でまかなはれるのであるが、またそれだけにかなり廣い敷地のうへにたてられてゐる。食堂は調理場と寮生の食事をと

る場所とにわかれ、後者は平時こそ机、椅子をかたづけて小部分を使用してゐるが記念祭などの晩餐會を催はす時には、僅に一千餘名の在學生を收容し得るほどの廣さを有してゐる。調理場にはボイラー釜四基の外設備はかなり完備しかたはらに委員室をかまへ、食事部委員管理のもとに、もつぱら有能にして清潔なる食事の供給に志してゐるが、現今の緊迫せる食糧事情に際して、委員その他従業員は努力は察するに餘りあるのである。

g 三昧堂其の他

その他以上の諸施設とはなれて小さな建物が境内には諸所に散在してゐる。三昧堂、柔剣道場などがそれである。

前者はその名の示すごとく禪の學堂であり、駒場驛から北に走る道と彌生道とが交るところにある。古風な建物である。後者はいまはその名の如くは使用されず、時折いろいろの集會場所となつてゐる。

h 結 語

以上でおほむね構内諸施設の説明を終つた。むかしは傳統の香しも高い鳴堂の姿も亦かしく、彌生道の兩側には科學教室が赤煉瓦とクリーム色のあかるい、それでゐて靜かな對照もほこりにたかならんでゐる。安倍能成先生がいつかこの彌生道にたたれて

「フランス郊外の風景を思はせる……と感かれたといふこともきく。これらの建物は、その豊富な理化學實驗器具など、そのなつかしい情緒とを惜しまれながら、戦災で焼失したまま、復興する術もなく放置されてゐる。われわれ

が丘を去つて後いつの日にか、これらの施設が盡く復興され完備された一高になつかしの母校として戻り得るであらう。後進の人達の營々の努力と後援者各位の御援助とを期待してやまない次第である。

寄宿寮の運営

總 說

中央 委員

此處駒場の里、時計塔を迎えつゝ柏葉の正門をくぐれば自由の天地がひろけてゐる。自ら旗自らを律して行く自治の子等は、次の如き四綱領を守りつつ美しい傳統を其の日其の日に創つて來た。

四 綱 領

- 一、自重ノ念ヲ起シテ展覧ノ心ヲ養成スル事。
- 一、親愛ノ情ヲ起シテ公共ノ心ヲ養成スル事。
- 一、辞讓ノ心ヲ起シテ靜肅ノ習慣ヲ養成スル事。
- 一、攝生ニ注意シテ清潔ノ習慣ヲ養成スル事。

飽く迄も我々の寮は自治である。然らば自治とは如何にして運営されてゐるか、如何なる範圍に其の限度があるか、其の一端を紹介する事とにしよう。

先づ寮は發生の生活する處であり、學校を代表してゐると言ひ得る存在である。一高と言へば寮であり、他校に見るが如く、學校の一部としての寮生徒の一部の人の寮ではなく、一高の教育は寮生活に其の基盤を有するとも言ひ得るが如く、寮の演ずる役割は實に大きく、重要である。而も自治である。全ての行爲に關し寮委員は責任と権限を有するのは當然であり、一高を代表するのである。

斯く言及すれば全面的に寮生の判斷で行はれてゐるかと言ふに然らず、校長先生始め諸教授は日夜寮生の教育に勞を盡されてゐる。而も公的に學校を代表するのは校長であり、校長より我々の自治が許されてゐるのである。教育の内容、其の實施計畫、學校の諸行事(例へば四大節、祭日)に關する事

全ては教授會の爲す事であり、我々の口を挿入する所ではない。他校に於て往々にして見るが如きストライキと稱するが如きものは、未だ向殿の地に襲つた事はないのである。我々は學校側の爲すべき事には忠實に之に従ひ、寮側の事項に關しては全面的に賛意を表して戴けるのである。若し相反したる場合はと問はれるであらう。其の際は委員と教授の談合によつて全ては解決されて行く。所謂「ものゝ解る」のが我々の特質であり、誇りである。相互の立場を考へ、一方面的要求のみを主張しないのであり、兩者の權限内に侵入しようとするが如き無思慮な事は有り得ないのである。

然らば委員とはいかなる者であり、如何なる立場に立つて、事を處してゐるのか、といふ説明が當然必要になつてくる。一言にして言へば委員とは寮を代表し、對外的にと、學校側(教授側)に對しても寮の運営に關し、凡ゆる責任を持つものである。而も委員は單なる寮の代表者ではなく、生活、風紀、即ち如何にして最も善く、勉學にいそしむ事が出来るか、此の運営と處理とに當るべく委任されてゐるのである。

る。若し寮に關し不祥事件の生じた場合は、この責に任ずるものは委員であり、其が解決に勉めるのも、教授ではなく、官憲でもなく、委員なのである。且又外部者にして、一高の名譽を毀損するが如きものとすれば、之が取締に任ずるのも委員である。然れども全てが委員の獨裁によつて行はれるのではなくして、其の大綱は寮生の總意により決定される。すなはちそれは各室より選出された總代により構成される總代會である。一方委員とは之に則り、事を行ふ者であり、其の構成を述べれば、正副委員長、中央會計委員、庶務委員、記録委員があり、之を中央委員と稱す。其の他に食事部、風紀點檢、學藝部、警膳部、茶菓部、共濟部、神立農場部、雜貨部、厚生部の諸委員があり、之を各部と稱する。更に共濟部は、共濟部と柏蔭會とに分

れ其の仕事を分掌してゐる。各部の内容に關しては、次項に譲ることにして、直接關係のある中央委員の事に關し一言述べよう。

先づ委員長は全委員を統括し、寮を代表するものであり、副委員長は之を補佐し、各部の内容を總べ、運営の統一の實權を掌握すべき重要な任を有する、中央會計委員は各部の會計的統一を行ふものであり、各部の諸經常費の分配に當る。各部は、毎月始めに其の月の費用の豫算を此の中央會計委員

に提出し、中央會計委員は、其の内容と實狀とを調査した結果分配するのである。其の任たるや副委員長に次ぐものであり、現今の如き經濟的急迫せる時に當り、特に才能を有するのは當然であらう。次に庶務委員は寮と學校との日常の連絡、各部の連絡を行ふ者であり、兎角、業務に迫られて放縱に成り勝ちな諸委員の連繫にあたる重大な任を持つ。特に委員會の諸準備、正副委員長の仕事等をなすに先立ち、その下工策を行ふなど、隠れたる君子のなす仕事であり、其の勞は大いに多とすべきである。最後に、記録委員は、寮内に於て行はれる凡ゆる公的な會議を記録し、各時々に考へられた事項を整理し、創業以來の諸記録を保管するのである。天下に冠たる向陵史の一頁一頁を著實に、整理して行くのである。

以上の五名を中央委員と稱し、各分野に互つて、各部の實情を聴取し、一方主要なる運営方針を決定して行く。業務的には差別はあるが、その他一済は同等なる寮生中より各々選出された委員であるが故に、そのコントロールと相互の協力とは却々困難である。而も之をよく、一つの方向に向けて行くか否かは一つにかかつて中央委員にある。即ち中央委員は寮委員の首脳部であり、客觀的に各部のバランスをとつて行くのである。(青山)

風紀點檢委員

厚生部委員

一高は「玉杯」にも歌はれてゐる如く、いはゞ獨立した一小國家ともいへる。つまり内閣に相當するものは寄宿寮委員であり、風紀點檢委員はそれの一翼として、司法の役割を担當する。風紀點檢委員は三名より成り常に寮内に眼を注ぎ、住み好き自治寮の建設に留意してゐる。殊に最近の世相は一高寮内にも反映し、幾多先人の遺した又我々寮生各自が積み上げて行くべき傳統と、革新の息吹或は革新の美名に釋れて自治寮の混亂を招く恐れのある思潮との間に立つて寄宿寮の前途に深き考察をするのも本委員に課せられたる重大責務である。風紀點檢委員の具體的な事務は全寮生に對して警察權を持ち風紀點檢をするのほもとより、偽一高生と盜難の對策を行つてゐる、入、退寮、休暇中の殘寮と一切本委員の許可を必要とする。司法機關たる懲罰委員會は本委員の申請のみにより開かれるものであり、百花咲き集ふ向陵に不祥事の起らぬ事を望むのはもとよりだが、泣いて馬糞を斬らねばならぬことも起り得るのである。歴代風紀點は法の眼を以て自治寮の行手を見守り、わだかまる困難を超克しつゝ寮生の爲の理想的自治寮建設に力を盡して來てゐるのである。

(新井)

保健衛生に關する事項は厚生委員を中心に生徒研究員の積極的活動により強力に行はれてゐる。例へば寮食堂の食のカロリーを計算して關係者に對策を進言したり居住環境の身體に及ぼす影響を研究したりしてゐる。又結核に對する對策としては患者に對して擁護部屋を設け校醫との連絡を圖ると共に更に病弱者用特別給食をも行つてゐる。

又毎學期健康調査を行ひ寮生健康の前記カロリーの關係經濟狀況との關係を把握する等、生徒はこの點安んじて日々の生活にいそしむ事が出来る。

一方衛生室は病室レントゲン室をも備へ、東大の醫師が毎日來校する。夜間の急患に備へ校醫一名は常に宿直してゐる。我々は當面の目的とし結核の追放を目指して身體検査の完璧を期し、春秋の二回之を行ひX線間接撮影を全員に行つてゐる。治療費の低廉さは驚異的であつて例へば赤沈三圓、氣胸術無料、X線撮影四ツ切りが市價三百圓以上の所五拾圓でやつてゐる。夜間の盲腸炎等の急患も直ちに東大へ急救車で送る。現在一高はその低廉さと完璧なる醫療設備を以て他校に絶對後れてゐると思はないのである。(八束)

共済部委員

一、目的及事業内容

當部は一高生の生活救済を目的とし、職業の紹介及び學費貸與をしております。

二、組織

當部は部長一名(教授)委員長一名委員若干名、顧問若干名、評議員及び協議員若干名を以て組織され相談部、資金部より成っております。

三、相談部

相談部委員は現在四名であり、主として適當な職業の紹介(家庭教師、事務外交員、肉體労働等)を行ひ、其他外部への宣傳、生徒の生活調査等を行つてゐます。

四、資金部

資金部委員は現在一名で、庶務會計及び生徒に對する學費貸與を取扱ひます。貸費は定期貸費及び一時貸費に分れ、現在定期貸費は月額一名約二百五十圓、四十名程を対象に行つてゐます。この資金は外部よりの寄附金、臨時事業の純益等を以つてあてられます。

五、委員としての感想

インフレの破局的進行と共に生徒の生活は日に日に窮迫して行く一方、紹介すべき適當なアルバイトは次第に獲得困難となり而もアルバイトの

質も家庭教師、事務等は激減し、専ら外交員、賣込等の仕事が増加して

おり。學生生活に於ける學問とアルバイトの矛盾等大きな社會的問題に迄なりつゝある現在、この行きづまりを打破する何等かの劃期的な方策の必要を痛感しております。(佐藤)

食事部委員

食事部委員の組織は總務の下に、人事、燃料、購買、會計、第二食堂會計、購買の職務がある。第一食堂で全寮の生徒が家庭配給で食事をし第二食堂では外食券によつて各自に第一食堂とはまったく別にその不足を補へる。

現在の食費は經常費三十圓食費三百七十圓であるから實際食事に使用するのはその三百七十圓の内から人件費も燃料費も施設費も差引いた金額となる譯である。第二食堂は全然別會計で利潤なしに寮生に食事を提供する。カロリー表を見て千四、五百の附近を上下する線を見ると寮生には全く相濟まぬと思ふが配給だけの生活では殆んど見込みがない、少くとも三千カロリーは欲しいし食堂の設備も改善したいがそれは遠い將來の事となるかも知れない。(久慈)

茶菓部委員

寮内に於ける寮生のオアシスとも言ふべき一高のホールを紹介しよう。寄宿茶菓部によつて經營されるホールは簡単に言へば寮内喫茶店とも言ふべきものであり、コーヒーとか菓子果物の類を寮生に販賣する機關である。

茶菓部も言ふまでもなく寮生の經營によるもので三名の寄宿寮委員がこの任に當る。總務は人事、購買、外交を兼任し會計は全の出納豫算編成その他一切の會計事務を行ひ、購買委員は専ら外交方面を擔當する。兩餘の仕事は全部従業員が行ひ、調理販賣方面に従事する。

寮生の經營によるものでその雰囲気も自ら向陵色濃きものがあるが、その向陵的氣分の中に言ふに言はれぬ慰安の場としてのうるほひが漂つて居る。ラヂオあり電書あるホールに於て寮生は美しき旋律に耳を傾けつゝコーヒーをすゝり、或は紫煙をくゆらせつゝ人生社會を論じ新聞雑誌の閱覽を行ふのである。

終戦後復活以來目ざましき進展をなしたホールは今後もいよいよ整備擴張をなして寮内に於けるオアシスとしての責務を充分に果し得るやうに委員の全力を擧げて努力中である。(辭川)

農場委員

本農場は、東都を距る百軒茨城縣上天津村神立に位し、幾多の夢を認め、歌に詠まれし筑波山麓に、水鳥飛び交ふ霞ヶ浦を控へ、自然を愛する寮生の自治運営下昭和二十一年三月元霞ヶ浦海軍航空隊跡に生れたるものなり。本農場地は始めは、原始的な渾々たる襟林なりしかど、寮生の汗する事二星霜今や昔日の影なく沃々たる十町歩の耕地とはなりぬ。その目的や、敗戦による困難なる世相下、食糧事情を緩和し、寮に寄與せん爲なれど、その最大目的は多角農場にし、且つ都座に備みし寮生を慈しむ懷郷の地とせんとするものなり。

猶額の内地の耕地は我等の目標に非ず、且つ農業は天候に左右さる耕作よりも家畜の方がより良く確實であるとの見地より、豚六頭、山羊七頭、馬牛各一頭及び兎、鶏等を飼育し、將來は之等は自家的に加工して寮生の蛋白質源となし、更に電力設備を増大し、鄙村に機械的農業の先驅を潰けんとす。地方の文化向上農業方法の進化の基地として、各寮生は矜恃を懷き、一日一日とその進化に努めて居るものなり。

(別所)

雜貨部委員

轉々と流浪の年月を重ねて落付いた所は化學教室の一隅、しかし此處も何時追ひ立てをくふか判らない行末を案じ乍ら仕事を續けてゐる今日此頃ではあるけれど務めは務め心細い資金を擁して擴大する仕事の垣を辛うじて守つてゐます。

昔は名前通り雜貨類のみを扱つた様だけれど寄せ来る時代の波に應へて今では煙草、衣類の配給をはじめクリーニング、衣類修理、靴、時計の修理等々寮生活に關係ある部門の中「食生活」を除いた殆んどすべてを取扱つてゐます。

そしてすべて市價より安く利用出来る購入出来る様に努力を續けてゐます。

(板谷)

營繕部委員

寄宿寮營繕部は、寮内の諸設備を整備する部である。主に電氣、水道、備品(机、椅子、寢臺等)に關して、設備の破損修理、新設、備品の購入を行ひ、冬期は燃料も取扱ふ。外部の電氣屋、水道屋等に依頼することもあるが委員自身で簡単な故障は修理する。委員を四名置き總務、會計、電氣、備品をそれぞれ擔當する。(岡本)

學藝部委員

學藝部委員が寄宿寮委員の中に加へられたのは一昨年の暮のことである。

從來あつた向陵時報部と新しく出來たゼミナル係とが合體したもので、寄宿寮委員の中で文化活動に關與する一切の部門を總括する。この他に文化活動の部門として護國會特設部である文藝部があるが、現今の不自由な情勢にあつて活動不能の状態にある。

學藝部は二部に分れる。一つは向陵時報部、他はゼミナル係である。ゼミナル係の仕事は校内或は公開の講座を開くことで、一昨年來「哲學とは何か」の命題の下に數多新進有能な少壯學者の連續ゼミを開いたのを始めとして、地味な仕事を續けてゐる。

向陵時報部の役割は向陵時報發行である。向陵時報は古い歴史のある一種の學園新聞であるが、現在では校内唯一の發表機關である。昔は月に二三回も發行になつたのであるが、紙不足が最大の原因で、今では委員の一任期に一編出すのがやつとの状態である。

向陵時報の最近の事情を通過するに二十年に復刊以後その貧弱に苦しみ續けてゐる。一昨年の如きはそのため事情を一變して純粹の新聞形態にしてはどうかといふ案さへ持上つた有様である。一高の文藝復興期が現在であると

すれば、もう一高などは雜魚に過ぎぬものであらうし、さう言ふのが誤なら向陵のルネッサンスは過去のものであるか又は近かれ遠かれ未來に屬してゐるものであらう。その理由を考へて見るに、戦後むやみに出來た諸々の發表機關に關係する者は一高生の中でもかなり多く、その爲この一高の中にあつて己の文藝を、或は論理を成熟させようと云ふ地道な人達が少くなつたことは重要な原因であらう。高きを望むことは希はしいことである。たゞ發表の一語が裏附けられてゐるため、かゝる人々は何と云はしい人々ではあるまいか。向陵内にあつて自らの思想を干渉し、外界に眼を轉ずることのない人達、その人達の中にすぐれた魂が出現する日まで、一高の文化は祭を慎しむる。

(橋本)

柏蔭會

柏蔭會設立の目的は、一高生に對する經濟的援助と、入試突破を志し希望と情熱を持つて、日夜勉勵する中學

生諸君に、最も適切な能率的な指導とを兩立させる、まさに一石二鳥の實現であります。敗戦後のインフレ暴進に伴ふ種々の障碍の爲に、向陵生活も日増しに困難を極め、世の柱となるべき人物人材が此の偶然とも云ふべき物的條件に妨げられて、進學する事が出來

なくなつたら、誠に國家的損失と云ふべきでせう。さて當會は若に濫立せる非良心的な營利的なものとは全く其の趣を異にした通信添削會で、一高生がつい最近來た受験に關する尊い體驗の結晶機關であります。其の具體的方法と致しましては、毎月二回指導部が英數國漢歴史人物及び知能検査の夫失の問題を提出して之を會員に送附し、その解答に對しては寮生が添削し總評を附したものを更に指導部に於て嚴密に校閲して採點席次を附して返送して居ります。

指導部は必要あらば直ちに教授の援助を求める態制にあるものであります。又毎月一回當會の機關誌「かしこげ」を發行して之を會員諸君に送附して居ります。之は當校教授に愛顧生向きに有能なる原稿を二、三お願ひして之を掲載するのを始めとし、寮生の受験生活經驗談、受験勉強の要領、又各科目の講座、或は一高内の種々なる情况等々非常に廣範圍に亘つて、ひたすら私達の後輩となるべき受験生諸君の爲に編輯された雜誌であります。

通信添削會運營の爲の困難とされてゐる紙の問題も、當會に於ては先輩諸兄の御援助を受けて公定價で之を購入する事が出來ましたので會費は他の添削會に比して相當安價なものであります。當會が生誕致しましたのは昭和二十一年五月であります。初志は或る

種慶全うし得たものと委員一同喜んで居ります。

植藤會は右に記した如く、其の會員とは當會により指導せられる中學生諸君でありまして、當會は當然これ等の受験生諸君と運命を共にするものであります。當會により大いに實力を養成されし事を受験生諸君に訴つて擧げます。

(五味)

嘯雲寮

山中湖、御殿場からバスでゆられて約二時間、富士吉田からは約三十分、旭ヶ丘に降りたつた人は、富士の裾野が東に盡きる所に、深き紺碧を湛へた山中湖を見出すこととせう。その南岸林の中に切り開かれた一本道を、湖水に沿つて東に歩むこと約二十分、静かな落葉松の林を穿にし、湖を見下した本寮は、自然を愛し又静寂を愛する者の宿であります。現在に於いて、二棟合はせて八部屋、寢具約三十人分が使用に供せられて居ります。

若芽ふく頃の落葉松、身にしみ入る閉古鳥の聲、朝な夕なに色のうつろひゆく富士、湖面にたなびきわたつた霧が紅に染まる美しさ——それらは本寮を訪れた者の心に、深く永へにきざみこまれるものでせう。

交通、又食糧(自炊も出来ませんが、開寮以來のお婆さんが賄つてくれま

す)の全部持参といふことに、いさゝか不便があるとはいへ、如何に此の地に於いて、我々の魂が、都會の喧嘩と騒ぎから解放されて、自然の懷にいだかれることが、そこには言ひきれぬ魅力があります。暮れゆく湖畔に立つて日没を見送る心の静けさ、又、軒端に轉る名も知らぬ小鳥に、耳を澄ます心の静けさ、それは都會に於いては決して得られぬものであります。

開寮以來二十餘年、時運の變轉の中にもその本質を維持した嘯雲寮は、寮生先輩寮生關係者をまねいて居ります。

偉大なる大自然の中に融けて、その美と、静寂とを愛さんとする人よ、來たれ、嘯雲の宿に、あかね色に染まり行く芙蓉山下、思ひに沈める湖水のほとり。

詠歸寮

當寮は東京を離る三時間半、熱海より二十五分、伊東より七分、四時春の如く温暖な伊豆半島の東海岸、宇佐見の小高い丘の上にあります。古城の跡である此の詠歸寮に立つて頭を右すれば、遙か三原山聳える大島がかすみ、尙右すれば、天城の山々連り、ひるがへつて東を望むと、油の様に波一つ立たぬ海面に、初島がぼつかり浮んで居ります。夜など前庭の椎の木立を通して、どんより黒ずんだ海一面にきらめ

く漁火を、何か懐しむ氣持で眺めると、又風流なものであります。

當寮を根據地に、少くも足を延ばすと、網代崎迄小一里、足駄を履いて伊豆東西兩岸を眼下に見下ろし、遙かに富士を望む、芙蓉山に登るのも、又愉快なものです。野趣豊かな一帯湖邊田かけのよいでせう。尙フアイトがみつたら、リモツクをかついで伊豆をめぐるのも深い思い出となつて、長く残る事とせう。大島には偶數日に下田には毎日、伊東から船が出てゐます。

當寮は、寮生の厚生施設であつて、夏は水泳に河童連で大いに賑ひ、順風に帆を上げて、遙か沖までヨットに身を委ねながら、友と寮歌をどなるのも學生時代の楽しい出の一つであります。

秋や春は、一人静かに書籍に親しむとする人にとつて、憩ひの場所となつて呉れるでせう。

部屋は八つ、全部十畳内一つは艇庫となつて居ります。他に食堂兼ビンゴ室、茶の間風呂があります。水は八十尺の底知れぬ井戸がら、モーターで汲み上げ、水の便は東京と變りがありません。前庭のテニスコートは今昌になつて居ますが、之も近い中に再び白球亂れ飛ぶ様になるでせう。

當寮は寮生許りでなく、先輩、家族、友人等に廣く開放して居ります。

遙か伊豆の地を慕ひ、一度び訪れんとする方は、中寮三階詠歸寮委員室まで御足勞願。暖かな色の點について、御相談に應じます。さきよりに掛る新春の便と紅葉の秋、さやややく如く梢を渡る松風、足下にひるがる相模灘、程近き温泉をそして黄金なすねしづの甘酸っぱい春、驚く前庭の老梅、舉つて諸子の訪れを待つて居ります。

その他

以上各部の他にも寄宿寮委員ではないが寮運営上公式の存在になつてゐるものに左の組織がある。

一、會計検査部——總代會の依頼を受けて五名の委員が、寄宿寮各部の經常會計について間違のない様に検討し總代會に之を報告する。

二、向寮史編纂委員——向寮史(一高寄宿寮ことを向寮ともいふ)の編纂發行のために二名の委員が之に當つてゐるが、最近では資金資料の入手難から昔日の如き立派な出版の行はれないのは残念な事である。

三、寄宿寮統計研究室——從來寄宿寮各部に於て隨時必要な時に關係事項のみの集計を行つてゐたが、最近統計の重要性の再認と共にこれが一括適當機關の設置となり技術的にも相當の研究を進める事となつてゐる。

集計された資料の他校或は一般社會との比較研究も亦大切な事であり、

此の點に於て同室は許される範圍に於て外部との資料の交換を希望してゐる。

(衆多)

總代會

(總代會の權限) 現在の一高に於ける總代會の意義及び權限は殆んど國家に於ける國會に類似してゐる。即ち第一に「寮に於ける唯一の立法機關」である。唯一の立法機關とは言へ、總代會に於て、委員が規約に關する提案を爲し得ることは日本の國會に於ける内閣との同様の關係である。而し一高に於ては最高裁判所的なものがなく、寧ろその裁判所的人格を總代會が併持してゐる點に於ては國會とは異つた意義を有してゐる。第二に「寮生を代表する機關」であつて、自治制度に於て寮内のあらゆる制度を拘束する機能を持つ「最高機關」である。

從つて凡そ寮内の規約及び會計其の他寮に關する重大なる事項は總代會の議決承認を経る必要がある。然して一度總代會で議決せられた事項は、總代會の權威に於て滿三箇月その變更をなし得ない。(但し狀態の急變により滿場一致して變更を可決する時には例外となつてゐる。そしてこゝで議決されたことは議長より生徒課長に通

知し、學校側の協賛を得るのである。又寮委員は總代會に於て、執務方針及び各部に關する事項について報告すべき義務を有し、總代及び寮生に注意を喚起することもなし得る。逆に寮生の方から寮に關する事項について寮委員の説明を求め、或は之に對して希望を述べること可能である。

(總代會の組織) 總代會は寮の各室の總代をもつて組織されて居り、その他に議長及副議長が一名置かれる。總代とはその室員を代表するものにして、その室員(現在約十二名)の互選によつて定められ一學期間の任期である。現在の總代會は合計百四名の總代より成つてゐる。總代は萬止むを得ざる事故の時に限り同室員を代理となし得るが、それ以外は欠席を許可せられない。議場に於ける總代は發言權を有し、議案を審議し表決に與ることが出来る。

次に議長副議長は在寮生の中から總代によつて選出されるもので、正副議長の選舉規約により、立候補届出、立候補演説を行ひ、總代會に於ける投票の結果決定される。任期は寮委員總代と同様一學期間であるが、事務の内容、職責の重大性に鑑み副議長が議長に再選されるのが從來の慣例である。議長は議場に於ては總代會の秩序を保持し、議事の整理を行ひ、常時は寮内の動靜を監視し、休暇中は總代會を代

行する。副議長は専ら議場の内外に於て議長を補佐する任務を有する。總代以外の寮生も番外として任意に出席し發言し得る資格を有つが採決權は持たない。

(會議) 總代會は寮委員の申請(又は總代十名以上の申請)によつて議長が開會するのであるが、寮委員の出席を缺くか、或は出席總代が總代總數の二分の一に満たない時は、開會し議決をなし得ない。

總代會には月一回定例に開かれる定例總代會と、臨時の必要ある時に開かれる臨時總代會と、緊急を要する特定の問題に關して開かれる緊急總代會があるが、毎月定例、緊急の二回開かれるのが大體の慣例である。

更に總代會には審査委員會、會計検査部が隸屬し、前者は議案を總代會に上す前に特別審議するための委員會であり、後者は寄宿寮諸會計の總代會への検査報告、また必要に依つては、會計擔當者の賠償責任の決裁にあたり、共に總代會の運営を圓滑ならしめるために設けられてゐる。

さて以上で大體の總代會に關する説明を畢つたが、これらの事は更に詳しく總代會規約のなかに明示されてゐる。しかしかかる規約組織以上に注目すべきは、この組織を貫く源流である。幾多の先人が血と汗の結晶ともなる事に努力しようとする。

一切を支配し一切を司る。あらゆる思想の相剋、馳騁の裡にあつても、なほ自治のために誠實と睿智と良心のかぎりをつくすこの向陵精神を、我々は永劫に守り續けて行きたい。(桑原)

懲罰委員會

懲罰委員會は陪審員五名、並びに風紀點檢員、被告辯護人によつて構成せられ、懲罰委員長の開會の宣言より、風紀點檢委員の論告に始まり辯護人の反駁辯護、陪審員の誘導尋問によつて休會となり、陪審員の秘密會議に移る。此處に於て懲罰が決定される。

一八頁※より

であるが一方敗戦の祖國日本はかかる國際社會に伍して之と誠實に協力することに依つてのみ再建の活路が開かれるのである。我々學生は此の現實を認識し此の現實に即應しつゝ祖國再建の道を歩まうとしてゐる。かゝる我々の進路は偏狹なる愛國主義の結果でもなく、又かつての如き進退的な文化至上主義でもない。力強いヒューマニズムに立脚した最も現實的な建設への進路である。此の様な線に沿つて我々は祖國日本のユネスコ加盟を促進し同時に其の準備的段階として國際的知識を涵養し、又學生間の知識の交流をはかる事に努力しようとする。

(聲明書より)

關東高校連絡會議

敗戦を契機とした、社會的政治的機構の民主主義的變革は、次々に我々の前に新しい問題を提示した。しかも之と相俟つて、日に日に増大する一般的生活的危機は否應なしに學生の基本的生活構造をも變革しつゝある。關東高校連絡會議は、かゝる客觀的基盤の上に必然的に創建された民主的學生組織の一形態であり、地理的には、關東地方の官公私立高校の、生活的、(狭義の)教育的政治的その他基本的諸問題の解決に關する連絡機關である。本會議の中心は一高で總代会より選出された生徒代表が議長、副議長を増當して、事務所を一高に置き一切の運営を掌つてゐる。現在特に、新學制改革に伴い高校の當面する諸問題に對し、主體的に働きかけることに重點を置き、昨年十二月末には、全國の高校より代表を集めて、一高に於いて連絡會議を開き、組織の全國的規模への擴大、新學制問題、生活問題等につき協議した。機關誌として「高校新聞」を月二回發行している。

高校新聞

基本的には、高校新聞は關東高校連絡會議の機關誌として、主として關東

地方の高校における諸問題の報導及び連絡に當るのであるが、最近、關東連の動きと平行して高校新聞も全國各地の該種新聞を併合してその基盤を全國的に擴大しようとしている。現在編輯業務等の運営は、都内の各高校が共同して主體的に之に當り、事務所は一高に置かれてゐる。形式的には保證されてゐる言論の自由の具體化として新開の擔荷使命は大きく、現に論文、創作等高校生投稿を中心としてゐるが用紙不足、販賣網の未確立のため經營

學生運動消息

「望み無き世に我は生まれて……」と曾ての先輩は歌ひ丘を去つて行つた。今や其の實は明瞭に現れ益々我等に迫り「望み無き世に……」と言ふ唇を抑へ最早聲を發する事も出来ない。美しき過去の想出も論理も體系も我等に下される精神的鞭達も全て我等には遠い世界の消息であり青き葉落ち香失せた微攪にも等しい。未來への希望それも期待するに餘りに空しい幻影である。

歴史の流れが私達を圓んで進み自由

は困難を極めてゐる。一高からは二名が非公式に新聞委員として参加してゐる。

尚新聞は民主的言論機關としてのその機能において、他の言論機關と同様、民主革命達成にその一翼として活動することを目標とするが、時には、音樂會講演會その他を會催して啓蒙宣傳活動にも當つてゐる。

一高基督教青年會

と獨立なき國家が如何に之に主體的に働きかけ得るかと思はせる。我々は最も親しきものをヘラクレイトスに認めるのである。其處では資本主義も社會主義も對極的な位置としてのみ在つて終末論的構造も樂觀的ではない。然し私は希望なく生活する事は出来ないし又自覺的行動を要求するものである。

誤謬である。信仰の世界と理性の世界とは不連續である。我々の希望は上から来る「我自ら責むべき所あるを覺えねど之に由りて義とせらるゝ事なければなり」といふパウロの言は深い言葉である。

ユダヤの預言者達も神と面接しその絶對の距離を知つて之に希望をかけて生きて來た。

我等は週二回エレミヤ記を鶴田氏に教へられたのが我らの活動であるがエレミヤ記の中でも亦聖書を一貫する態度も之であつた。之程の一貫性は古代から各人が直接に體驗して來た事が如何に眞實であるかを証明する。

それにつけても向陵の又日本の基督者に言ひたい。何故かく沈滞し情熱の無い事か。

世の塩たるべきもの其の効力を失はば外にすてられて人に踐まれるに過ぎぬであらう。

◆ユネスコ學生クラブ◆

平和に對する人類の翹望が達成されるか否かは直ちに人類の死活問題である。そして之を達成すべき國際社會の相互的協力を緊密ならしめる爲には諸國民の相互理解を深くする爲に知識の交流と又知識人の國際的團結がなければならぬ。此れがユネスコの生れる現實的理由(十七頁添に續く)。

向陵年中行事

入學式 四月、構内の櫻がなつかしい色合ひに賑ふころ、新しい白線帽と制服に双頬を輝かせた新入生が入つてくる。彼等は入學式のある四日までに入寮をすませ、ひたすら新しい學舎に學ぶ日を憧れ望む。その希望に充ちた思ひはいかばかりか察するに難くない。入學式は講堂で行はれる。校長の訓示を膽に銘じ、先輩との挨拶もいそいそと、かくて新

たなる健兒を交へた寮生活の幕はふたたび切つて落されるのである。

入寮式 むかしからこの入寮式は「向陵の洗禮」と呼ばれてきた。といふのはこの式場に於て新入生は綿々たる向陵精神の長き流れを聞くからである。式はむかしは嚶鳴堂で行はれたが、今は焼けてしまつたので舊柔剣道場などで行はれる。ひと頃この式は長時間に亘るを慣例とするやうになり、委員長以下寮委員の講話は朝食後から夜、頭に星を戴く頃にも及ぶこともあつた。そのためにこれが新入生の最大の脅威であつたのである。しかし今は比較的安全な見地から、先輩の委員は自己の見解とあはせて向陵史を語り、新入生ははじめて一高とその根幹をなす寮生活の

眞義の一端を知るのである。

寮歌教授 寮歌は寮生の若い情熱の發露に外ならない。音楽としての意味はとにかく、われわれは朝に夕に寮歌を吟じ、先人の努力の跡を偲び、また若きひたむきな抱負の思ひにふるぶるのである。新入生が入寮してしばらくは、各寮に寮歌の聲がたえない。新入生は先輩に伍して覺束ない口調で後をたどる。この寮歌教授は時としてひと處に集り大規模に催はされる。かくておぼえる寮歌の聲とともに寮生の氣概はいやまに高まつて行く。全寮晚餐會 またこの頃新入生歓迎の大晚餐會がひらかれる。全生徒は食堂に會し、食事部委員の絶大なる努力に依る有能なる食事をとつてから、さまざまの人達が壇上に立つて所感を述べる。この日教授達も招かれ、ともどもに壇上にのぼる。生徒の議論は甲論乙駁盡くるところを知らず、往々にして明朝に及ぶことがある。その熱烈なる意氣こそ、その後のさまざまの寮生活に具現されるのである。

コンパ これは別に時を定めず何か事あるたびに各部屋で行はれる。主として親睦を目指すものであるが席上討論の花が華やかに咲きみだれることもある。各人が金を出し合ひ茶菓をあつめ、時には酒を飲んで胸襟をひらき、歡談時を久しうして、寮生活の表象たる智慧と眞理と友情への希求の思ひは次第に強められて行く。

夏季休暇前後 六月の終り頃第一學期の試験が行はれる。向陵生活の眞意義が試験成績

の向上にのみ存するのではないが、それでも試験は學生生活と切りはなしては考へられない。試験間際になれば寮の電燈は未明に至るまで輝き、圖書館は暗ならぬ混雜を呈する。しかしなかにはそんな觀念など毛頭なく、澁谷の街角を瑠璃と彷徨する者も居る。そしてさういふ人達はおほむね他の寮生達から尊敬を受ける。試験が終ると夏季休暇に入る。地方出身者の多くはよごれた下着等を詰めた荷物を負ふていそいそと歸省の途につくが、いまは寮生の經濟狀態も思はしくないので、その休暇を利用して資金獲得に奔走する者もかなり居る。伊豆の詠歸寮、山中湖畔の嘯雲寮はこの夏季休暇の間大いに賑ふ。その風光明媚を併せて、良心的な經營のために、不自由な寮生もそこで一時の慰みを得る。休暇が終つて歸校すると、今はいろいろ都合で定つてはゐないが、多くの場合教務課の前に成績が發表されてゐる。半ば以上にゐながら上位の成績を得られなかつたことを慨く者も居れば、最下位にゐながら、毫も悲しまない者も居る。成績がわかると部屋々々は番附コンパの準備に忙がしい。成績の良い者は多額のコンパ費を捻出させられる。

インター、ハイ 普通インター、ハイと名付けられてゐる全國高等學校運動競技大會はおほむね前記の夏季休暇中に行はれる。運動部は歸省もせず合宿し、日頃の鍛錬の成果を十分發揮する爲に準備おさおさ怠りない。その前に應援團長が選ばれ、彼の許に集る多くの寮生は、寮歌の聲もどろに選手を聲援

する。乏しい食糧事情にもめげず選手達は炎暑のなかを熱闘する。かくてはじめ関東豫選が行はれ、優勝すれば全國大會で覇を競ふ。全生命を運動に捧げんする彼等のうちには、その激しい敢闘精神に自らの身體を傷け斃れる者さへある。またそれだけに全國優勝の榮を荷ふた時、彼等の喜びはいかばかりであらう。

對三高戰 わが校が關東に雄視してゐるに對し、勁敵三高は關西の雄を以て自ら恃してゐる。勁敵といふ名をかざして戦ふなどといふ言葉は過激にすぎるものであらうか。いや、それはわれわれの運動に對する熱意に外ならない。幾多先人が過去數十歳に亘つて湧きたかした情熱の血潮は、いまわれわれの裡にも沸々とたぎつてゐる。運動部にとつて唯一の目標たるこの三高戦は夏から秋にかけての絶好のスポーツ、シーズンに行はれる。戦場は彼が上京することもあり、吾が京洛の地に下ることもある。陸上競技、端艇、野球、庭球の四部がこの時火花を散らして闘ふ。勝つては嬉し涙に暮れ、敗れては相擁して悲哀を歎する。まことに人生五十餘年、いつの日かこのやうな感激を味ふことがまたとあらう。

秋季各部運動大會 燈火親しむべき秋はまた運動の季節でもある。勉學に疲勞をおぼえた頭は、無限に青い空と足下に躍動する大地の香りとが醫して呉れる。この頃はそれでなくとも各人各個の運動に興するものであるが、その外しばしば各運動部主催になる寮內大會が展開される。或は部屋、或は級を單位としてさまざまなチームを作り選手を送り出す。

す。なかには職員チームまで交り、素人演技に腹を抱えるなど、まことにすこやかでしかもたのしい憩ひのひとつではある。

總代会 これはわが自治寮の立法機關である。すなはちわれわれの寮規約は大小を問はずこの總代会に於て議決される。年中行事としてより寮内の異色ある機關として毎月一回定例總代会の形式で催されるといふことに意義があるのであるが、殊に一月の總代会は紀念祭を前に控えてゐるので、その組織やら豫算やらに關して激しい議論が討はされる。各部屋毎に一名の總代が選出され、委員選舉と時を同じうして選ばれた總代会正副議長がこれを採擷しながら議事を進行せしめる。時として議場が麻の如く亂れて議論が沸騰するもの、ひとへに寮生各自がみづからの個性を尊び、且つみづからの母胎である寮を愛するが故であらう。

紀念祭 紀念祭がちかづくといわれわれはその準備に忙殺される。委員側では準備委員が任命されてこれに勤む一方、寮生各自は部屋毎に乏しい材料をもとに工夫をこらして飾物の製作にとりかかる。各部屋は他の部屋の者の入室を禁じ絶對的秘密裡に準備おささ怠りない。これらの飾物は紀念祭の前夜にはじめてその秘密の幕をひらく。自治燈のきらめくその夜、食堂では大晩餐會が催され、かたわら食堂の議論の喧騒にたえかねた寮生は、全寮をめぐつて飾物にうち興する。

かくてわれわれはいひ知れぬ興奮のうちに、明けて輝かしい紀念祭を迎へる。紀念祭

は講堂に於ける記念式典より始まる。玉杯の齊唱、委員の寄宿寮記事朗讀、校長以下諸先生の祝辭など、式は嚴かにとり行はれる。ついで講演、音樂會、座談會、寮生劇などの文化的行事が催はされるかたはら、或は假裝行列或は水泳部の河童踊りなど、われわれのかたい心ときほぐす催しも併せ行はれる。それらの行事は時に依つて異り、また、公開、非公開などいまは定つてはゐないが、おぼむね三日乃至三日の紀念祭は、最後の夜、北中寮の間に焚く篝火をかこんで唱ひまはる寮歌祭によつてその幕を閉ぢる。火影は闇夜を照らし、われわれの歌聲が寒氣まだ去らぬ冬の夜空を壓するとき、祭の最後の夜は劫々と更けてゆく。

學年末 一歳の月日は夢のやうにして流れ去つてしまふ。紀念祭が終れば春の聲音も聞え、われわれは最後の研鑽に努める。三年生達はこの頃大學の入學試験に忙がしいし、その外の者として學年末の試験のため机に向ふ時間が自然にのびる。三月、ふたたび向陵に春風がかり櫻の蕾も育つとき、卒業して丘を去る人の群は切々の哀愁を抑へもやらず、門の傍に佇んで時計塔を仰ぐ。かくて一歳を経た向陵はふたたび新しき人々のため門を開いて待つのである。(向陵史より要約)

昭和二十三年一月二十日印刷
昭和二十三年一月三十日發行

「高生活」の實狀

編輯 第一高等學校寄宿寮
發行 統計研究室
印刷 代々木區代々木四六〇
印刷所 有明舎社石川印刷所

探書人の書肆!

(新刊) 書籍 (雑誌)

澁谷榮通

誠志堂書店

振替東京196397番

親しみ深い

家庭的な雰囲気

喫茶
食事

菱田

井ノ頭線一高前驛下

昔馴染!! 一高生の店

是非一度お立ち寄り下さい

喫茶
食事

一幸

井ノ頭線一高前驛下

誠實を

モットーとする

トミヤ洋服店

澁谷榮通二ノ一五
東急バス一高入口前

クスリは

司生堂薬局

澁谷道玄坂下
電話澁谷(46)二六〇七

青木理はっ店

シツクな風味!

喫茶
食事

Bel Ami.

井ノ頭線一高前驛下ベラミ

雑誌
書籍

成美堂

井ノ頭線一高前驛下

おいしく しかも やすく

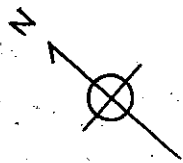
本當の甘いお菓子を召し
上りたい方はどうか是非一度

菓子
お汁粉

本田屋

道玄坂上

校内案内図



焼跡

物理教室

化学教室

生物教室

本部

明寮

北寮

中寮

南寮

学生道

本館

図書館

講堂

正門

至瀝谷

井の頭線
至吉祥寺

一高統計研究
室調査ニヨル
物價指数
昭和20年9月に於ケル
(2) 3100トスル。

5000
4000
3000
2000

閣

21年 22年